

令和 2 年度

地域力応援基金助成事業 活動報告書



地域力推進課

区民協働・生涯学習担当

令和2年度実施 地域力応援基金助成事業 活動報告書 もくじ

地域力応援基金助成事業の概要 3

スタートアップ助成

■新規

団体名	事業名	頁
高齢者元気プロジェクトおおもり	高齢者が「元気で生きがいと安心」を感じることができる「おおもりのまちづくり」	4
NPO 法人 Code for OTA	民泊活用による地域活性化	5
音創りクラブ	音創りクラブの「誰もが楽しむ音楽デリバリー」	6
絆 蓮華組	“チーム絆”プロジェクト	7
一般社団法人東京 BAY スポーツ&カルチャークラブ	ふる浜「ノルディックウォーキング」	8

■継続（令和元年度から実施）

団体名	事業名	頁
Live&Life	親子自然体験事業	9
おとな&こども・ほっとネット	おとな&こども～地域のなかでの世代を超えた子育ての輪づくり～	10
防災助っ人集団 やっこさんの会	「大田区で防災について考えるつどい」	11

ステップアップ助成

■新規

団体名	事業名	頁
aurorajourney-保育の世界を旅してみよう-	えどぴフォーラム	12
一般社団法人 ERINA ダンスアカデミー	ダンスで繋がる輪！～健康な身体と心を育もう～	13

■継続（令和元年度から実施）

団体名	事業名	頁
サードエイジサロン	退職者の生き方塾	14
NPO法人 打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く絵本つくっちゃお♪	15
社会福祉法人 大洋社	若者の生きる力の醸成支援を軸にした自立支援活動 「JOY」	16
オレンジ茶房「縁（えにし）」	オレンジ茶房「縁(えにし)」	17

チャレンジ助成

■新規

団体名	事業名	頁
特定非営利活動法人男女共同参画 おおた	LGBTを理解しながら、当事者の方々が安心して集える居場 所づくり	18

チャレンジプラス助成

■新規

テーマ(1)『介護と仕事の両立支援コーディネート事業』

団体名	事業名	頁
一般社団法人大田区支援ネットワー ク	介護と仕事の両立を支援するライフワークバランス事業	19

■新規

テーマ(2)『縁を結ぶひきこもり支援事業』

団体名	事業名	頁
おおた社会福祉士会	生きづらさ・ひきこもり支援の地域ネットワーク構築事業	20

■継続（令和元年度から実施）

テーマ『「おおた健康プロジェクト」を推進する事業』

団体名	事業名	頁
一般社団法人日本社会連帯機構	区民と区民活動をつなげる「OTA 健康スタンプラリー」波及事 業	21
おおた高齢者見守りネットワーク	健康行動を生活に取り入れた生活習慣獲得に繋がる地域 づくり	22
NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり	花とみどりで心と身体の健康づくり	23

地域力応援基金へのご寄付のお願い 24

■地域力応援基金助成事業の概要

地域力応援基金助成事業は、平成 21 年度の制度創設以来、区民活動を支援するとともに、協働を推進する施策として実施してきました。これまでの事業の実績や地域活動の現状を踏まえた制度とするため、令和元年度の実施分から以下の通りの制度となりました。

各助成事業の概要

	スタートアップ助成	ステップアップ助成	チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
主旨	団体の基盤となる事業の応援	基盤となる事業を拡大・拡充させる事業やスタートアップ助成事業の規模拡大の応援	新たな地域課題や新規事業にチャレンジし、地域の連携・協働の深まりが期待できる事業を応援 このうち、区が示すテーマに即した事業であれば、申請額の上限を50万円増額とする。（チャレンジプラス助成）
要件	設立から概ね5年以内、かつこれまで助成事業を実施していない	設立から概ね3年以上	区内で活動実績があり、設立から概ね6年以上、かつ既存助成事業実施終了または新規助成制度における事業実施終了から2年以上経過
総額	新規200万円 （継続150万円）	新規280万円 （継続210万円）	新規1,000万円 （継続750万）
助成額	1事業につき20万円まで （継続は15万円まで）	1事業につき40万円まで （継続は30万円まで）	1事業につき200万円まで （継続は150万円まで） ただし、チャレンジプラス助成として申請した場合は、250万円まで （継続は187万円まで）

高齢者が元気でひかり輝く「大森」に！

事業名

高齢者が「元気で生きがいと安心」を感じることができる「おおもりのまちづくり」

助成額

20万円

◆地域での課題

自宅や施設で生活する高齢者にとっては、加齢につきものの心身の体力の低下や病気の発症が常に懸念されます。また、なにか生活で問題があった時、“どこの”“誰に”に相談したらいいかわからない方も多いようです。



◆基金事業概要と達成した成果

コロナ対策はしっかり行いながら、大森地域の方々が定期的集まり、一緒に身体を動かしたり美味しいコーヒーを飲みながら歓談する場を提供。

「ポールウォーキング」で地元を再発見！

6月より「太極拳教室とコーヒーの会」「ポールウォーキング教室とコーヒーの会」をそれぞれ月1回開催。毎回15名ほどのご参加をいただいています。



10月から毎週水曜日に「健康麻雀おおもり教室」も合わせて開催し、ご参加された皆さんの“絆づくり”にも少しずつ貢献できているように感じます。

◆これからの取り組み

各活動での既存の参加者の方々の絆をより深めつつ、新規参加者増加も視野に入れた活動をめざします。

「相続と遺言書の作り方講座」も盛況に

次年度からは、地域の高齢者の方々がいくつになっても元気で光り輝くだけでなく、参加者が地域貢献できる仕組みづくりにチャレンジします。

団体名

高齢者元気プロジェクトおおもり

会員数

10人

設立

2019年12月14日

団体の活動目的
活動実績

高齢者が元気でひかり輝くことのできる「大森のまちづくり」の実現をめざします！
会員だけでなく誰でも参加できる「太極拳教室とコーヒーの会」、「ポールウォーキング教室とコーヒーの会」「健康麻雀おおもり教室」などを定期的開催中です！

オープンデータで魅力的な大田区を！

事業名 民泊活用による地域活性化

助成額 17万円

◆地域での課題

地域のオープンデータ化を推進する中で、大田区では空家が多いことを課題ととらえました。大田区の特長として、特区民泊を実施していることがあります。特区民泊を活用して、空家問題を解決できるのではないかと今回の事業を計画しました。

◆基金事業概要と達成した成果

オープンデータ化の推進

大田区の許可民泊施設のオープンデータをWEB上にプロットして区民へ見える化を行いました。

民泊MAPの整備

民泊MAPに施設ごとの第三者評価を実施。メンバーが民泊周辺住民からヒアリング調査をして、民泊の実情を区民へ見える化をおこないました。

空家民泊シンポジウム開催

活動の集大成として産業プラザPiOコンベンションホールにてシンポジウムを開催。緊急事態宣言下であったため、オンラインでも同時開催。大田区における民泊活用の可能性を広く発信することができました。

◆これからの取り組み

今年の夏、オリンピック・パラリンピックに向けて多くの外国人が大田区を訪問する可能性があります。受け皿として脚光を浴びる大田区の民泊活用をアピールしてまいります。空家・民泊のほかにも、オープンデータ活用を研究しております。

CODE FOR OTA 大田区 民泊 MAP レポート



オープンデータ見える化としての民泊MAP

調査活動

民泊施設の聞き込みを徹底（糀谷周辺）



空家民泊シンポジウム（3/14 PiO）
専門家にご登壇いただきました。

団体名 NPO 法人 Code for OTA

会員数 10名 設立 2020年1月

団体の活動目的 活動実績
オープンデータ推進により、地域のライフスタイルを魅力あるものにしたと考えるメンバーが集まって議論をはじめました。今回の地域力応援基金助成では、民泊による地域活性化を提案させていただきました。2021年2月にはNPO法人として認証されました。継続的な活動をしてまいります。

「誰もが楽しむ音楽デリバリー」♪

事業名

音創りクラブの「誰もが楽しむ音楽デリバリー」

助成額

20万円

◆地域での課題

住み慣れた地域で、誰もが音楽を楽しめるような機会を作り、単身高齢者や、障害を持つ方とそのファミリー、子育てママなどが孤独にならない環境を作り、健康に過ごしお互い交流できる温かな音楽空間をお届けすることを目指しています。

◆基金事業概要と達成した成果

●地域のデイサービスや、発達障害を抱える子供の放課後デイサービスなどに出向いて、皆が知っている歌謡曲やポップス、クラシック曲の演奏をお届け。リラックス&エンjoyできる選曲で、笑顔が多く生まれました。

●乳幼児を連れたママたちの集うカフェに出向き、0歳から参加できる音楽コンサートをすることで、子供もママも楽しめる活動をし、ご近所での仲間づくりに協力することができました。

●発達障害を抱える子供たちのデイサービス「りぼん」では、大田区の小学校に協力をお願いしてお借りした楽器「トーンチャイム」などを用いて、皆で交流しながら音楽に親しむ活動を行い、月に1度のペースで共同企画させていただくなど、活動の幅が広がっています。

◆これからの取り組み

●デイサービスなど事業所との連携を大事にし、都内のコロナ感染者数の推移なども見ながら、対策を徹底し、楽器や曲目を厳選して行うほか、動画配信の工夫なども検討していきます。

●若い音楽家の活動の場を広げ、人材育成するとともに、音楽療法などの専門家の意見も取り入れながら、安全、安心な形で継続的に事業を提供できるよう、今後も企画していきたいと思えます。

12月にはハンドベルの体験も



「コーヒーレンバ」でLatinの手拍子♪

団体名

音創りクラブ

会員数

5人

設立

2019年4月

団体の活動目的
活動実績

「誰もが楽しむ音楽デリバリー」の活動を通して、様々な理由で自分からコンサートなどに出向くことが困難な方にも、交流できる温かな音楽空間をつくり、孤独感の解消を目指し、関係する方々にも協力し合えるコミュニティづくりのための一助にさせていただくために。大田区在住の音楽家を中心に、地域社会へ貢献し、ともに楽しめる音楽をお届けします。

～絆 蓮華組は感謝と思いやい!!～

事業名 “チーム絆” プロジェクト

助成額 20万円

◆地域での課題

- ①子どもたちが直面している孤立化やいじめ、格差問題
- ②学校以外での、仲間づくりの場
- ③高齢化している大田区を若い世代が参加しやすい環境に。(お祭り、商店街のイベント)



◆基金事業概要と達成した成果

子どもたちが心を開放し話ができる居場所づくりとしてよさこいダンスチーム「絆蓮華組」を結成しました。プロダンサーの指導を通じて本格的なレッスンを月に1回開催しています。コロナ禍でイベント中止が相次ぎましたが、お正月お寺で参拝客の前でレッスンの成果として衣装を着て踊ることが出来ました。

ダンスを観てくださった方々から温かい拍手をいただきました。子どもたちの自信につながったと思います。



◆これからの取り組み

コロナ禍ですが、次の目標（正月のイベント）に向けて新しい曲で新しいダンスに挑戦しています。

継続して月1回練習を続けており、ダンスも上達し、仲間同士のチームワークも向上しています。



団体名 絆 蓮華組

会員数 8人

設立 令和2年4月

団体の活動目的
活動実績

子どもたちの生きる力（前に進む力、柔軟な心、人に対する愛情、仲間づくり）を育み、地元大田区を盛り上げる活動をしています。

【自転車 10 分の親子自然体験】

事業名

親子自然体験事業

助成額

17万円

◆地域での課題

遠い山や海に費用と時間をかけて参加する自然体験はどうしてもイベント的になり、特別なことになってしまう、自然豊かな大田区にある自然を活用することで親にも子どもにも生きている自然を感じ、普段の暮らしの中にある自然を通して、命の大切さを学んでほしい

◆基金事業概要と達成した成果・今年はコロナのため年3回のプログラムを去年活動が実施しやすかったせせらぎ公園にて実施

- ・8/2(夏の森で生き物を探そう)
- ・11/3(五感であそぼ♪秋の自然)
- ・3/14(春をさがそう～生きものみつけ)
- ・生活圏が同じということもありコロナの心配なく開催でき、近所の交流をさらに深めることができ、結果3月は22人の参加者となった

◆これからの取り組み

- ・久が原の畑を使った生きものとの触れ合い体験を実施予定
- ・大田区の保育士さんを中心とした自然体験活動インストラクターを養成
- ・参加家族から来年も実施してほしいとの声もあり、次回は大田区の海の自然体験プログラムを企画、実施予定
- ・他団体との協業も引き続き実施



団体名
会員数

Live&Life

2
人

設立

平成31年 4月

活動目的

大田区にある身近な自然を生かした活動を通して、いのちの大切さと生きる力を子供達に身に付けてほしいとの思いからこの団体を立ち上げました。来年は他の団体さんとも協力し、この活動を広げてゆきたいと思います。

コロナ禍でもやれることをやりきった！

子どもと親が一緒にわくわくほっとできる場所

事業名 おとな&こども～地域のなかでの世代を超えた子育ての輪づくり～

助成額 (15万円)

◆地域での課題

- ①希薄になってきている家族のきずなを強める活動
- ②地域のなかで孤立しがちな子育て世代の交流の場づくり
- ③父親、母親の活躍の場づくり
- ④多世代間の交流の場づくり
- ⑤多文化交流の場づくり
- ⑥遊びを通しての子どものダイナミックな育ち



◆基金事業概要と達成した成果

- ① 子どもの遊びを通しての家族間の交流推進の事業→「青空デイキャンプ」(イベント参加者 100名)
- ② 多世代の居場所づくりや出会いの場づくりの事業→「子ども食堂ほっとねっとキッチン」「おおたおやこまつり」(参加者 600名)
- ③ 父親・母親が自身を輝かせることができる場づくり→「まままるしえ」「スターライトクリスマス」
- ④ イベントを通しての子育て団体の連携の促進事業→イベントごとに地域団体との連携と協働の推進の実現。(出展 24 団体)
- ⑤ こども食堂事業など→毎月子ども食堂の開催、コロナ禍でも会食付きの子ども食堂の開催は大田区では他にない取り組みでした。
- ⑥ 2020年6月イベント規制中にオンラインイベント「オンラインまままるしえ」の開催。

2020年ネットとリアル「2つのまままるしえ」
 オンラインまままるしえ・リアルイベントまままるしえ
 どちらも大成功！
 6/27 オンラインは、自分たちに何ができるのかを考えた結果3時間の生配信。そして満を持して10/11開催リアルイベント。完全予約制でブースは各回満員御礼の大盛況でした！



◆これからの取り組み

年間を通じて、親子の遊びと繋がりをつくり、参加者同士での交流が出来てきています。運営と一緒に携わる人数を増やし、大田区全域で幅広く活動を行え、「大田区で一番面白いね」と言われ様々な年代(若者・子育て世代・地域の高齢者)の方が関わって会員になってくれるような団体をめざします。

屋外でめいっぱい遊ぶ「9/27 青空デイキャンプ」
 屋内でキラキラものづくり「12/20 スターライトクリスマス」毎年行っているイベントは、リピーターが増え毎回定員いっぱいまで申し込みがあり、期待されていることを実感します！

団体名 おとな&こども・ほっとネット <https://www.facebook.com/otonakodomohotnet>

会員数 22人 設立 平成30年3月

団体の活動目的 子育て家族のしあわせと家族みんなが輝ける大田区をつくることを目的に結成
 活動実績

コロナ禍の真っ只中で何ができたのか？

事業名 「大田区で防災について考えるつどい」

助成額 15万円

◆地域での課題

新型コロナウイルス感染症の拡大で令和2年度は、期間中に二度にわたり、緊急事態宣言が発令され、人の動きが止まり、地域での交流も激減しました。それは地域の課題を見えにくくしてしまうことにもなっていました。

人と会えないこと、交流できないこと、イベントを企画実施できないこと。この状況では仕方ありませんでした。

今年度は、じっと耐えながら、あらためて地域の課題を観察する一年間でした。

青空デイキャンプでの
防災研修



福寿奏
防災のつどい

防災かるたをつくりました



大人から子どもまで楽しみながら、学べる防災かるたに仕上がりました。

◆基金事業概要と達成した成果

1年目(令和元年度)を振り返り、より強固な防災啓発活動を計画していましたが、このコロナ禍により、当初計画していたことはほとんど実施できませんでした。

しかしながら、事業が実施できなかった分、少し立ち止まって、防災啓発活動を推進するための道具をつくることができたことは、不幸中の幸いでした。

「防災かるた」と「大田区版水害HUG(避難所運営ゲーム)」をつくりました。来たるべきコロナ後(アフターコロナ)に必ずや期待通りの成果を得られると確信しております。

呑川氾濫HUG(避難所運営ゲーム)

以前からつくっていた呑川氾濫想定避難所運営ゲームをリニューアルしました。



◆これからの取り組み

防災助っ人集団 やっこさんの会は設立から2年半経ち、現在3年目です。ありがたいことに大田区内での認知も高くなってきました。今後も防災啓発活動に邁進していきたいと思っています。

団体名 防災助っ人集団 やっこさんの会

会員数 10名 設立 平成30年9月1日

団体の活動目的 活動実績

大田区と大田区民のための防災啓発団体として平成30年9月1日設立
 …命を守るために“気づく防災活動”をします。
 令和元年度：地域力応援基金助成事業(スタートアップ助成)取得
 避難所運営を語る(講演会)・熊本地震講演会・災害想定ゲームKIZUKI実施
 ・呑川氾濫HUG(避難所運営ゲーム)実施等
 令和2年度：「防災かるた」と「大田区版水害HUG」を作成

新しいかたちの保育・子育てフェス

事業名 えどぴフォーラム

助成額 37万円

◆地域での課題

近年は保育士の離職率が高く「保育士不足」が大きな問題となっています。安心して子どもを育てられるよう、保護者への支援はもちろんのこと、保育所や保育士への支援も重要です。また離職率が高くなることにより「保育の質」も安定せず、それに伴い子どもを取り巻く環境の向上が容易ではありません。

孤育てやワンオペ育児に悩む家庭も多く、父親の育児参加や、地域ぐるみでの子育て環境の充実が求められています。

◆基金事業概要と達成した成果

●基金事業概要・達成成果

〈新しいかたちの保育・子育てフェス〉と題し第1回えどぴフォーラムを開催。オンラインツールを利用し、コロナ禍においても保育者や子どもに関わる大人の学びを保障しながら、対話をベースに様々な切り口の番組を配信しました（番組20個以上、5会場同時配信）。全国・海外から多様なゲストをお呼びし、幅広い観点から保育・子育てについて語ることが出来ました。

当日は170名の方に参加して頂き、今後の新たなイベント開催の大きな一歩にもなりました。また5つの大田区民団体と協働できたことは今後の活動においてもとてもいい機会になったと思います。

◆これからの取り組み

地域ぐるみの子育て環境の充実のため、今後はより大田区の保育所や保育士等と連携・協働していく必要があると思います。そのため設立当時より定期開催している研究会「えどぴ-保育の専門性を高める会-」の学びの場の提供はもちろんのこと、より大田区にコミットした対話の場作りをし、大田区の保育・子育ての課題や悩みを確認し合い、積極的に地域に発信していきたいと考えております。

えどぴ -保育の専門性を高める会-

「保育者の専門性を高めることが、社会をより良くする」を理念に、2018年4月に発足した研究会です。

- [え] education (保育・教育・共育)
- [ど] edo (江戸・循環型社会)
- [ぴ] peaks (頂・連峰)



専門性の高い保育者の山々が、連峰として繋がりが合い、豊かな社会を目指します。

これまで対話と学びの場を述べ19回開催し、子どもに関わる様々なテーマを取り上げてきました（保育の質、ICT、暮らし、衣食住、生きる力、自然派医療、玄米和食、保育者の学習論など）。



↑メイン会場



小冊子を作成⇒



子どもと一緒に楽しめる番組多数↓



えどぴフォーラム公式ホームページ



←海外の登壇者と繋いでトーク中

↓事前広報も頑張りました



団体名 aurora journey -保育の世界を旅してみよう- (オーロラジャーニー)

会員数 11名 設立 2017年4月

団体の活動目的・活動実績

- ビジョン「大人が輝くことで、子どもも輝き、社会がより良くなる」を基に、研究会や講演会・座談会・ライブ配信等を定期的で開催し、より良い保育・子育て環境の充実を目指しています。
- 研究会19回、講演会15回、座談会8回、ライブ配信20回以上

コロナに負けない身体づくり

事業名 ダンスで繋がる輪！～健康な身体と心を育もう～

助成額 39万円

◆地域での課題

- 社会情勢の影響によって外出や運動の機会が減少している
- 運動不足が引き起こす健康の二次被害(筋力や免疫力の低下、ストレスの増加等)が懸念されている



おおた健康講座

12月20日開催!

おおた健康講座は、今回で6回目の開催となりました!!
ダンス体操や脳トレで楽しく健康づくりを行いました☆

◆基金事業概要と達成した成果

スタートアップ助成で基盤づくりを行った事業の拡大を予定していたが、密な環境を避けることが困難な内容であった為、「おおた健康講座」のみ規模を縮小して実施した。

また、講座内容は今年度課題の声が多く上がっていた「運動不足」の緩和を目指す為、身体を動かす運動プログラムを中心とした。

プリベンションダンスで身体をほぐそう!

講師：高橋 英理奈



楽しくフレイル予防を始めよう!

講師：鈴木 ちはる



◆これからの取り組み

1月17日(日)

「おおた健康講座」開催予定

<前半>

身体をほぐして温めるダンス

プリベンションダンスの体験

<後半>

脳トレ盛りだくさん!

フレイル予防体操を楽しもう

団体名 一般社団法人 ERINA ダンスアカデミー

会員数 4人

設立 平成29年1月

団体の活動目的
活動実績

プリベンションダンスの普及を通じ、一人ひとりの健康意識の向上及び、介護予防、他者との交流を目指した活動を行っています。

【元気で自立して人の役にもたつカッコいい人生】

事業名 退職者の生き方塾(退職者の生きがい塾)

助成額 20万円

◆地域での課題

団塊の世代が地域に戻って数年経過したが、地域活動に参加している人は少なく、「団塊世代」どこに行った！の声を聞く。今、地域は少子高齢化や女性の社会進出によって、山積する地域課題を解決する人的資源が枯渇しています。元気退職者に地域参加を進め、安心して住み続けられるまちづくり活動を推進します。

◆基金事業概要と達成した成果

元気退職者に現在の地域の現状と課題、長年体験してきたタテ社会からヨコ社会への切り替え、これから自由に使える10万時間の有益な使い方、元気に自立するための健康管理、新たな働き方等をみんなで話し合い、納得できるサードエイジの生き方をみんなで議論し、考え・実行計画を策定する5回の連続講座。最後に「これからの私の生き方」を発表しみんなで応援し合います。

◆これからの取り組み

- ①早い段階での地域参加に取り組み、地域の皆様と共に生きがいをもってさわやかに生活する。
- ②この講座のテーマは「人づくり・友達づくり・まちづくり」です。受講者同志知り合い、友達になって、次はいつまでも安心して住み続けられるまちづくりに挑戦していきます。みんなで「支え合い」、「お互い様」社会づくりです。

講座第開講挨拶と



自己紹介



団体名 サードエイジサロン

会員数 26人 設立 平成22年4月

団体の活動目的
活動実績

本会は、大田区に在住するサードエイジ(元気高齢者)を中心に、サードエイジの充実と健康をテーマに、仲間づくり・居場所づくりで相互の親睦を図り、サードエイジの緩やかな生き方を探求するイベント・講座等を自ら企画・運営し会員の様々な個性や嗜好を活かした活動を通じて地域社会へ貢献していきます。

【こどもたちに音楽を！】

事業名

こころに響く絵本つくっちゃお♪

助成額

30万円

◆地域での課題

【コロナ禍でも子供たちへ！】

コロナ禍で様々なイベントが中止・縮小となる保育園へ音楽を届けます！
また、絵本の題材のオリジナル楽器を作成は密を避け個別包装。保育の時間で作ってもらい、保育の時間にもアートの時間を。後日 YouTube 限定配信をし、おうちの時間を親子で再びコンサートを楽しみ、音楽というツールで心のコミュニケーションを。コロナ禍でもおうち時間を素敵なものに！



楽器を作って絵本の世界へ！

絵本に出てくる楽器と一緒に演奏。様々な演出で音を楽しもう！

◆基金事業概要と達成した成果

【区内6か所12公演 600名の子供たちへ音楽を！】

絵本の読み聞かせと音楽のコラボレーション。また絵本の中に出てくるオリジナル楽器を作り、その楽器と共に見る、聴く、触る、そして作るという項目を加え、五感に響く参加型コンサートを開催しました。当初は児童館開催を考えたが、コロナ禍でイベントが出来ず、保育園で密を避けての2公演で対応。その後ママたちも楽しめる様、YouTube 限定配信をしておうちでもコンサートを楽しんでもらった。



◆これからの取り組み

【さらに多くの子供たちに音楽を！】

子育て支援施設と同じ分野の他施設への広がりを持ち、各施設や団体の参加人数、規模を広げることを目指しています。親子目線で、現代求められている保育の中でのイベントの在り方を追求し、多くの後援、協力を得て、充実したコンサート内容確立。また”団体力”の底上げのため、人材育成はもちろんの事、団体の特色を広く大田区へ周知する活動も広がっていきます。



コロナ対策

アクリルカーテン・フェイスシールド・消毒・MART 散布など安心して音楽が楽しめますように・・・



本格打楽器体験！プロが演奏した楽器をみんなもさわってみよう。みんなも上手に鳴らせたね！



団体名

NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと

会員数

11人

設立

平成25年4月

団体の活動目的
活動実績

「子供たちにもっと生の音楽を」をモットーに東京芸大卒の池野ひとみを中心に結成。コンサートに出掛けにくい方たち向けに（乳幼児、その保護者、障害者施設、高齢者施設、乳児院など）本格打楽器を出張し、参加型コンサートを開催する。ただ聴くだけでなく、見て、触って、一緒に合奏したりと、気軽に本格コンサートを体験してもらうためワンコインコンサート中心に活動。これまでにのべ500か所、5万人に音楽を届けてきた。

ざっくいのんびり円(エン)JOYしよう!!!

事業名

若者の生きる力の醸成支援を軸にした自立支援活動
「JOY」

助成額 30万円

◆地域での課題

生活困窮者世帯の貧困連鎖防止の為、支援の必要な児童、若者に学校や家庭以外の「居場所」の提供が必要だと考えました。そして、「生きる力」を身に付ける為、「社会参加への準備支援」「自肯定感・生きる力の醸成支援」を育む機会が作りにくい現状がありました。



◆基金事業概要と達成した成果

【プログラムのリモート開催】

今年度は新型コロナウイルス感染予防の為、JOYの活動をリモート開催にて行いました。外出の自粛など孤立しやすい環境の中ひとりひとりがみんなと繋がっていることを実感することが出来ました。

【体験プログラムの実施】

リモートでのオンラインバスツアーを実施しました。現地のガイドツアーから歴史や特色について学ぶことが出来ました。

*クリスマス会

みんなでクリスマス会😊
この後みんなでダンスも踊りました!!

◆これからの取り組み

コロナ禍の中、児童や若者が社会との繋がりが持てるように、かつ自分らしく生きられ、自信につながる関わりを行います。良き理解者や協力者を社会の中に増やしていきけるように働きかけを行います。JOYで経験を積み、社会に出ていける児童や若者が増えました。今後も社会との接点を持てずにいる児童や若者に、JOYの活動を知ってもらい、参加してもらえるように継続的に広報活動を行います。



*体験プログラム：オンラインバスツアー

みんなで香川県に行ってきました♪
高松空港や、旧金毘羅大芝居やうどん学校に案内してもらい、勉強してきました。

団体名 社会福祉法人 大洋社

会員数 20人

設立 平成28年4月

団体の活動目的
活動実績

【事業目的】地域の生活困窮者世帯の品行連鎖防止のため、支援の必要な児童、若者に対して学校や家庭以外で安心して過ごせる場「居場所」の提供と生きる力を育むための自立支援活動を行う。
【活動実績】学習プログラム21回、食育プログラム21回、健康プログラム10回、体験プログラム3回
参加述べ人数 125名(12月31日現在)

「心のよりどころになるカフェを目指して」

事業名

オレンジ茶房「縁(えにし)」

助成額

18万円

◆地域での課題

高齢化率が23.8%と区内では5番目に高い地域です。一部の地区以外は最寄り駅まで遠く、バスが主な交通手段となる為、バスの乗降が困難になると公共の移動手段がなくなります。急坂上の地域にはバスが通っていない為、心身の機能低下が外出困難となることに直結しやすいです。



*R2年12月久しぶりの開催でした。ソーシャルディスタンスを保って、お話をしました。

◆基金事業概要と達成した成果

今年度はコロナ禍のため、11月いっぱいまで活動はできませんでした。今までカフェを開催していた場所は三密のため、開催場所の変更をすることになりました。新井宿特別出張所会議室にて活動を再開しております。(R2年12月より)



みなさんそれぞれコロナ感染に気を付けてお過ごしいただいていたようです。

◆これからの取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、消毒を徹底します。

なるべく少人数でソーシャルディスタンスを取って、マスクを着用して開催します。

認知症カフェではありますが、出張所会議室は飲食禁止のため、必要な方は飲み物を持参していただきます。

団体名

オレンジ茶房「縁(えにし)」

会員数

12人

設立

平成29年5月

団体の活動目的
活動実績

認知症カフェの運営

レインボーフラッグサロン

事業名

LGBTを理解しながら、
当事者の方々が安心して集える居場所づくり

助成額

25万円

◆地域での課題

近年、多様性の認識が広がる中で、LGBT 当事者も根強く残るジェンダー観や性別役割により、生きにくさを感じていることが表に出てきています。さらに周囲の理解不足や偏見なども加わりさまざまな困難に直面しています。

調査によると13人に1人がLGBTに該当、それに伴ってLGBT支援のための相談窓口を開設する自治体も増えてきました。

大田区男女共同参画推進プラン基本理念の「誰もが認めあい、笑顔につながるまち おおた」をめざして、これからも地域力推進部との協働・協創をモットーにLGBTの理解が進むよう取り組んでいきます。



4月19日 オンラインにて第1回サロン実施。ファシリテータ鈴木茂義さん。



◆基金事業概要と達成した成果

<事業概要>

地域の方々にLGBTを理解してもらい、当事者が安心して集える居場所を継続すること。

<成果>

●新型コロナウイルスの拡大防止のため、急遽オンラインで毎月サロンを開くことができました。対面での開催に比べて人数を絞らざるを得なかったのですが、北海道から九州までの参加者もあり、丁寧な話し合いができたことは大きな成果でした。

●当初の予定は年4回でしたが、コロナ禍で繋がりを求める当事者もいたため、原則月1回とし、居場所の定着ができました。

●LGBTの方々が集う居場所としての活動が定着し、当事者が安心して胸の内を話す場所、支援する人たちの集まる場所として参加者が認識することができました。全参加者数は170人、イベント開催回数は11回でした。

9月20日 ファシリテータ小谷しずくさんと事業経過観察の大田区職員、当スタッフとのご挨拶。



◆これからの取り組み

●居場所事業を継続します。新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況下であるため、原則オンラインでの開催を踏襲し、オンライン環境が整わない人は当法人事務所での参加を可能とします。

●LGBTについて一般の方の理解を進めるために、誰でも参加しやすい事業展開をしていきます。

●他団体と連携を結び、各回の参加者にとって有効な情報を提供できるよう努めます。

10月18日 オンラインにてサロン実施。事業経過観察の大田区職員、大田区区民協働推進委員さんと一緒にファシリテータ永易至文さんの話を聞く。



LGBTとは、Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性別越境者)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。

団体名

特定非営利活動法人 男女共同参画おおた

会員数

89名+1団体

設立

2003年12月4日

団体の
活動目的
活動実績

<活動の目的>

すべての人々に対して、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を図る活動に関する事業を行い、誰もがその人らしく伸びやかに生きられる社会づくりに寄与すること。

<活動実績>

- 2004年より現在においても継続して大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」の指定管理者として大田区内において男女共同参画推進に向けた事業運営、建物管理を実施。
- 2016年より、東京都インキュベーション施設運営計画認定事業・認定施設である、主に女性向け創業支援施設「バシオンTOKYO」を運営。起業を希望する方へ、事務所およびワーキングスペースの提供、起業相談、起業塾等を通して起業支援を実施。
- そのほか男女共同参画社会の実現を目的とした講座の企画・運営、団体支援、調査研究を実施。

介護離職を防ぐ！仕事と介護の両立支援事業

事業名 介護と仕事の両立を支援するライフワークバランス事業

助成額 236万円

◆地域での課題

世界に類を見ない高齢化が進む日本では、「介護離職」が社会問題となっています。「介護離職」は、企業にとって貴重な労働力を失うのはもちろん、本人にとっても生活困窮に陥ったり、精神的・肉体的に負担も増すなどの影響を及ぼします。従業員9名以下の企業が80%を超えるここ大田区でも「介護離職」を食い止めることが急務となっています。

◆基金事業概要と達成した成果

- 1 大田区内企業経営者・人事担当者向けセミナーの実施
仕事と介護の両立に関するセミナーを実施。
- 2 大田区内企業様に対する個別相談
従業員の方の仕事と介護の両立相談対応
- 3 大田区内ケアマネジャー向け研修会
ケアマネジャーに両立の重要性を講義。
- 4 大田区民・大田区内企業向けセミナー
オンライン形式の両立支援セミナー。
- 5 「仕事と介護の両立応援 BOOK」の製作。
両立に役立つ情報満載の冊子を作成。

◆これからの取り組み

■オンライン形式でセミナーをこまめに実施

新しい生活様式に対応し、オンライン形式でセミナーを実施します。多くの方に参加頂けるよう開催回数を各月で実施します。個別企業向けの支援も継続していきます。

■他団体との連携強化

区内企業や区民の方に情報が行き届くよう、東京商工会議所大田支部をはじめとした様々な団体と連携できるようにしていきます。

企業経営者様や人事担当者様向けセミナー



昨年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業として予定していたセミナーは全て見直しを余儀なくされました。新たにオンライン形式でのセミナー開催を企画し、区内企業の経営者や人事担当者に向けたセミナーを令和2年10月に実施しました。

大田区報でもご紹介頂きました



本事業の取り組みについて、おおた区報の令和2年12月21号でご紹介頂きました！
多くの区民の方に事業を知って頂き、気軽にご相談を頂ければと思います。

セミナーの案内をホームページに掲載しています。

大田区支援ネットワーク



団体名 一般社団法人大田区支援ネットワーク

会員数 18名 設立 2013年8月

団体の活動目的 活動実績

当法人は、大田区を中心とした地域に存在する様々な課題を解決し、誰もが心豊かに住まえるまちづくりと地域福祉に寄与すると共に、それを発信し広めていくことを目的として活動しています。これまで住民主体型・訪問支援サービス「絆サービス」のボランティアマッチングを行ったり、大田区社会福祉協議会と連携してボランティア養成の支援などを行ったりしています。

専門家や企業と連携した「新たなつながり・支援のカタチ」

事業名 生きづらさ・ひきこもり支援の地域ネットワーク構築事業

助成額 180万円

◆地域での課題

ひきこもり状態の方が近年増え、長期化していることは「8050問題」などでクローズアップされています。地域社会から見えにくく、手を差し伸べにくいこの問題を解決していくことは、単一組織のみでは困難です。地域全体で地域の様々な人達を支えられるネットワークを作ることによって解決の糸口を見いだせればと考えて事業展開を始めました。



◆基金事業概要と達成した成果

この事業は、①ひきこもりがちな方への居場所の提供と、状況の把握（特に若者を重点に）②ひきこもりがちな方に対する「応援者」のネットワークづくり③当事者と「応援者」をつなぐ、の3点を事業目標に活動を行いました。ただコロナ渦での活動となったため、約半年間事業展開ができず、また予定より内容を縮小して行ないました。事業紹介と居場所イベントを同時に行った1回目の活動では支援に関心を持つ方の参加を得ることができ、2回目の活動の動物カフェでは多世代の交流も含めた「ほっとできる機会」の提供ができました。3回目の活動、ゲーム感覚の映画の鑑賞会では、これまで引きこもり支援の活動に参加していなかった「当事者の方では？」という方に参加いただけました。多角的な企画構成は、様々な方々へこの事業を周知し、生きづらさ・ひきこもり支援に関しての理解啓発を進める一歩を踏み出せたと考えています。

◆これからの取り組み

コロナ禍と重なったため、企業調査を対面方式で実施することが難しいことや、企業もコロナ禍で厳しい状況であると判断し、実施を見合わせています。2年目は区内の企業はじめ様々な活動団体や個人に対して働きかけを行い、当事者と「応援者」をつなぐ活動を充実させることを意識して活動を行っていきたいと考えております。



団体名 おおた社会福祉士会

会員数 190名

設立 1994年

団体の活動目的 活動実績

大田区内における社会福祉士としての専門的技能の研鑽、専門職相互の連携を図り、社会福祉に貢献することを目的として活動しています。主な活動は、原則として毎月開催している定例会、区民公開講座です。社会福祉、社会保障に関係する様々なテーマで開催しています。会員に限らず門戸を開き、テーマに関心ある多くの区民、行政機関、専門職の方にご参加いただいております。

With コロナでも！健康づくり、仲間づくり、生きがいづくり！

事業名

区民と区民活動をつなげる
「OTA 健康スタンプラリー」波及事業

助成額 187万円

◆地域での課題

「フレイル」を予防するには、運動・栄養・社会参加が重要であるとされています。

今年、コロナ禍の中で、運動や社会参加の機会が非常に少なくなっています。生活様式の変化の中、栄養に関する意識を持つことも今まで以上に大切になってきています。

「はねぴょん健康ポイントアプリ」の利用促進につながる PR を行い、社会参加を促す。

また、健康増進に向け「みんな de カラダ 改善コンテスト」を行い、IT アプリを活用した事業を実施する。

栄養士のアドバイスを受けながらのダイエットサービスの「あすけんアプリ」を企業協力により無料で活用し、2ヶ月間で腹囲2センチ、体重2キロ減を目標に30人が体験。

◆基金事業概要と達成した成果

新型コロナウイルス感染症の拡大により、区の主催イベントの全面中止と区民活動団体によるイベントのほとんどが実施されない状況で、「OTA 健康スタンプラリー」を展開することが不可能の状況の中、12月12日の「OTA ユニバーサルスポーツフェスタ」で、あすけんアプリ成果報告会。

大腸がん検診キットの回収、内臓脂肪等の身体測定コーナーを実施した。

健康診断、大腸がん検診受診等に関する情報を記載した『おた健康パスポート2020』を作成し、配布した。



健康診断、大腸がん検診受診等に関する情報を記載した『おた健康パスポート2020』を作成し、配布。

◆これからの取り組み

◆助成金受託期間2年間で事業の基盤を整備・構築

健康スタンプラリーが健康の増進の合言葉化する。

区民活動団体の活動に参加することが当たり前になること。

◆助成金事業終了後は自立継続した事業として歩んでいく。

シニア・ユニバーサルスポーツネットワークの組織化

福祉・介護・医療団体と区民活動団体の連携の強化。



団体名 一般社団法人 日本社会連帯機構

会員数 6,700人 設立 平成22年10月

団体の活動目的
活動実績

非営利・協同のネットワークを広げるためにつくられた組織。仕事おこしを通して、失業問題や地域の課題を解決する取り組みを行っている。2010年に羽田の歴史を地域の人たちと語り合う「高齢者の主張大会」「豊かな高齢期を考えるシンポジウム」、2017年秋に地域の居場所づくりを目指す協同集会などを開催。現在、大田地域の文化の継承、中小企業のよさ、価値の再確認を目指して「名人達人サミット in おた」プレミアムシンポジウムを2020年11月にweb開催。

【みま～も式 まちなか健康プロジェクト】

事業名 健康行動を生活に取り入れた生活習慣獲得に繋がる地域づくり

助成額 187万円

◆地域での課題

住民の健康づくりを考えた場合、若年層・現役世代における健康意識の低さが課題となっている。忙しい、自覚症状がない、何となくなどの理由で自信の健康が後回しになっている人たちが、自分なりの「健康行動」を生活に取り入れ、習慣化できるようになるが重要である。

【ミニプログラム】

- ・ZOOMを利用したヘルシープレートダイエット：1名
- ・ポールウォーク貸出：2名
- ・YouTubeへの動画投稿：調理実習、運動、手話ダンス

【みま～も食堂】

2020年10月より持ち帰り限定で再開。毎週金曜日 11:30～12:30、管理栄養士監修の弁当を求め高齢者、近隣の会社員、親子連れなどが来店している。



◆基金事業概要と達成した成果

事業一年目の昨年度より仕事・家庭・子育てに支障をきたさない時間帯とボリュームで継続でき健康につながるコンテンツ提供。今年度はコロナ禍のため一部計画を変更し、オンラインや講座やソーシャルメディア、健康アプリの活用など新生活様式に取り込み易い事業を実施している。また自粛生活による健康リスクが表れやすく、且つSNS等の利用率の低いシニア世代に向けては対面での講座を継続しつつ、スマートフォンを活用した繋がりや情報収集が出来るようになるための使い方講座を開催した。

【セミナー】

少人数に分け対面、会場でのビデオ講習、自宅でのYouTube視聴と希望者が参加方法を選択し参加できる様にして開催。YouTubeに関しては初めて利用する高齢者向けの講座も実施した。



◆これからの取り組み

今年度は新型コロナウイルスの影響により上半期は事業を中止。10月から開催方法を変更し再開する形となった。国民の生活が大きく変わり、個々の健康意識や健康問題にも変化がある中、「住民と専門職が会わなくても繋がり、住民の健康向上に貢献できる活動を継続していきたい。

【「はねびよん健康ポイントグループ対抗ランキングチャレンジ」専門職と住民でグループを結成。初回・中間・最終のみグループが集まり情報交換。それ以外は日々個人でウィーキングに励んだ。参加者10名

【2021年2月1日～28日開催】

まちづくりが元気！おたウオークラリー2021】

街中に貼ってあるステッカーの文字を集めてキーワードを完成させるウオークラリー。感染対策をしながら運動・外出の機会を作る目的で開催。

【若年者向け退職後の生活を考えるZOOMセミナー】2021年2月22日開催。

団体名 おおた高齢者見守りネットワーク

会員数 65社

設立 平成 20年4月

団体の活動目的
活動実績

医療・保健・福祉分野の専門職、民間企業が協賛として参加し、地域の高齢者の安心・健康をテーマに活動している。地域づくりセミナーは、毎回約120名が参加。みま～もステーション事業は、年間430講座を開催。2017年からは、全世代対象とし活動を拡大してきた。

花とみどりで、心もからだも健康に！

事業名 花とみどりで心と身体の健康づくり

助成額

12万円

◆地域での課題

心身共に「健康」であるための活動を、ひとりでなく仲間と、楽しみながら取り組めるようにできる場があれば、と考え、花やみどりを愛でることで季節感や生命力を感じて心が健康になり、花の手入れで適度に身体を動かすことで身体も健康になる取り組みとして、組み立てました。

◆事業概要と達成した成果

花やみどりを愛でながらまちを歩く「花とみどりのまち歩き」と、地域の公園でのガーデニング活動を通して仲間ができ、心も身体も元気になれる「コミュニティガーデン講座」を、年間通じて行いました。まち歩きでは「出歩ききっかけや楽しみ方を学んだ」、コミュニティガーデン講座では「きれいな花壇ができて散歩が楽しみになり、遠回りをするようになった」という声が上がっています。

◆これからの取り組み

コロナ禍で、開催を迷う時もありましたが、逆にこんな時だからこそ、と、屋外中心ではあれ、最大限に配慮をして無事に開催することができましたし、参加者からも大変好評でした。

「健康づくり」は一、二年では成らず、ですので、今回の学びを生かして、さらに工夫を重ねて、楽しみながら取り組んでいきます。



コミュニティガーデン講座…2019年10月スタート。今後も地域の自治会員を中心に構成されたふれあいパーク活動として手入れを継続していきます。材料費は東京都都市緑化基金の助成を受けるなどの工夫をしています。



花とみどりのまち歩き…2020年6月、2021年2月、3月実施。毎回、池上駅をスタートして、まちなかの花やみどりを愛でながら歩きました。

団体名 NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

会員数 132人 設立 平成13年12月

団体の活動目的・活動実績 地域社会に対し、花壇の植栽・樹木の植樹・剪定等のボランティア活動を通じ、緑の保護・緑化の推進及び緑の普及啓発を行い、もって豊かさ・潤いのあるまちづくりに寄与することを目的として、活動を続けています。駅前花壇の維持管理、区内緑地の管理、区民農園の管理運営、各種イベントへの出展による普及啓発活動等を行っています。



地域力応援基金へのご寄付のお願い



様々な地域の課題解決のために活かされています！



地域力応援基金は、区民や事業者の皆様からの寄付金を積立て、区内で活動するボランティア団体やNPO、地縁団体等が実施する公益的な事業を支える基金です。

1 寄付金の活用

地域力応援基金へのご寄付は、「地域力応援基金助成事業」として大田区の財産となるべき地域力の発掘・活性化をすすめるために活用させていただいております。基金を活用して実施した事業は区ホームページで公開しております。是非ご覧ください。

2 寄付の方法

(寄付される場合には以下の3つの方法があります)

(1) 納付書によりお近くの金融機関で振り込む

➡ 寄付申込書を下記送付先まで送付してください。後日納付書をお送りしますので金融機関窓口でお振込みください。なお、手数料はかかりません。

(2) 現金書留で郵送する

➡ 寄付申込書を同封の上、下記送付先まで送付してください。郵送料等は恐縮ですが、お客様でご負担ください。

(3) 直接現金をお持ちいただく

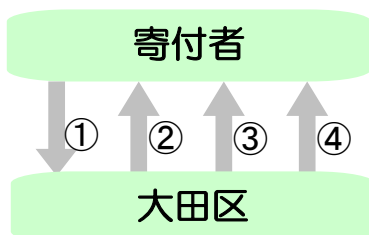
➡ 大田区役所6階地域力推進課にお越しください。寄付申込書はその場でご記入いただきます。

3 寄付申込書の入手方法

寄付をされる場合には寄付申込書が必要です。寄付申込書が必要な方は、大田区HPからプリントアウトするか、下記問合せ先までご連絡ください。後日郵送でお送りします。

4 寄付の流れ

(※上記2寄付の方法(1)の例)



- ① 寄付申込書の提出 (郵送でも FAX でも構いません)
- ② 納付書の送付 (到着後、金融機関で振込)
- ③ 振込確認後、受領書・礼状を送付いたします。
- ④ 区報掲載 ※希望者のみ (掲載月は不定期です。)



令和2年度 地域力応援基金助成事業活動報告書

発行年月:令和3年 10 月

発行:大田区地域力推進部地域力推進課

区民協働・生涯学習担当

〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

TEL:03-5744-1204 FAX:03-5744-1518